

教区報

第123号 2025年6月

日本ハリストス正教会教団
東日本主教教区



発行：東日本主教教区宗務局

〒 980-0021 仙台市青葉区中央3丁目4番20号

電話 022-225-2744 fax 022-224-3080

<http://www.orthodox-sendai.com/>

振替 02200-2-30428 「東日本主教教区宗務局」 orthodox@hyper.ocn.ne.jp

「太初に言あり」



復活大祭の聖体礼儀でイオアン傳の福音書が読まれた(イオアン1章1節～17節)。『太初に言あり、言は神と共に在り、言は即ち神なり。是の言は太初に神と共に在り。萬物は彼に由りて造られたり、凡そ造られたる者には、一も彼に由らずして造られしは無し。・・彼の中に生命有り、生命は人の光なり。』

私たちは神・子イイススの言葉(ロゴス)を聞かなければならない。神の言葉に心を開くこと、それは神を愛すること。神を愛すること、それは神を信じること。神を信じ生きるとは、神と共に生きているということ。こうして主の生涯は私たちを御自分の住まいに招き入れる為に、また実らせて刈り入れる為に各々の人生を与えた。生きている今日はその人にとって新しい自分が生まれる日でもある。

聖神は人の内に住まい、あらゆる不幸を吸っている人に、息を吐くときには感謝となって吐き出せるように力を与え、生きづらさにある人に慰めを与え、冷えた信に熱を送る。人には神の一片が埋め込まれている。こうして私たちは神の愛から生まれたゆえに、神の愛からは逃れられない。